

1 学校教育目標

学ぶよろこび ・ きたえるよろこび ・ ふれ合うよろこび をもつ子ども

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの自立を促し、手助けをする学校 ・子どもが安心して過ごすことのできる安全な学校 ・すべての子どもに基礎的・基本的な学習事項を定着させる学校
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの違いや人権を尊重し、協働して、社会に貢献する子ども ・目標をもち、最後までやり遂げる子ども ・基礎的・基本的な学力・体力を身に付けようと励む子ども
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人の自己実現を支援する教師 ・子どもと共に過ごし、子ども理解に努める教師 ・保護者・地域に信頼される教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

[学校の現状]

- ・登校時の検温、換気、手洗いとマスク着用の指導、給食時の黙食など感染防止対策の徹底を図る。
- ・足立スタンダードに基づいた授業を展開し、AIドリルを活用した個別最適な学びとICT機器を活用した協働的な学びの充実を図る。
- ・教科学習や学校行事などの体験を通して、児童の自己肯定感を高める指導の充実を図る。

[前年度の成果と課題]

- 書く習慣が身に付き、「自分の意見や考えを相手に分かりやすく伝える」意欲は高まった。
- 分かる授業を実践して確かな学力を身に付けると共に、児童が「学ぶ楽しさ」を実感できる授業を展開する。
- 学校メールや学校ホームページ、Google クラウドルームを活用し、学校の取組や子どもたちの学ぶ姿を保護者に発信していく。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R2	R3	R4	R5	R6
1	学力向上アクションプラン（確かな学力）	◎	◎	◎	○	○
2	豊かな人間性の育成（豊かな心）	◎	◎	◎	○	○
3	基礎体力の向上と健康な体づくり（健やかな体）	○	○	○	○	○
4						

5 令和4年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
基礎的な内容の定着、課題解決を分かりやすく考えさせる授業の工夫・改善を行う。		年度末定着度調査（2月）の2科目平均通過率75%、平均正答率75%		通過率：国73.2%、算69.7% 正答率：国69.7%、算69.7%		2科目平均通過率は71.5%で未達成 2科目平均正答率は69.7%で未達成 授業や家庭学習でAIドリル（キュビナ）を既習学習の復習に活用していく		△	
B 目標実現に向けた取組み									
新・ 継	アクション プラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 新規	放課後補 充指導	国語算数	毎週 月曜	ペア学級の教員と担任 ・次へのステップやAIドリルでつまづきを個別指導	学習の記録・ 進捗を参考に、達成目標を自分で設定	・年3回、達成状況を評価、計画の見直し	・12月時点12回実施、 ・3年以上児童アンケート「AIドリルの活用」85%	・協働して基礎学力向上に取り組む ・AIドリル月300問の目標を継続	○
2 新規	パワーア ップタイ ム	国語算数	毎週 火水木 15分	・水曜日を読書の日とし 児童、教員も読書 ・全児童 認知トレーニング	・読書の記録 ・学教評価 教員、児童 アンケート	・年3回、達成状況を評価 ・全学級で実施	・教員アンケート「水曜日の読書の実施」91% ・教員アンケート「認知トレーニング実施」75%	・「1か月に2冊以上本を読む」子が増え、来年も継続 ・認知トレーニングの継続と充実	○
3 改善	書く力の 育成	各教科 その他	通年	全教員 ・各教科や特別活動等において学年に応じた文字数で書く活動の日常化	・学校評価 児童アンケート	・肯定的な回答が80%以上	・教員アンケート「書く活動の日常化」83%、 ・児童アンケート「考えや気持ちを文章に」69%	・児童は、書く習慣は身に付いている ・「めあて、ふりかえり」の場面を増やしメタ認知が向上	○
4 改善	教員の授 業力向上	各教科 その他	通年	全教員 ・実務、実技OJT研修 ・授業におけるICTの活用	・OJT研修 ・授業観察	・年間一人1回 ・週に3日以上	・OJT研修を一人一回以上実施した ・全学級でICT活用できた	・全員が講師となりプレゼン能力が向上 ・毎日授業でICTを活用している	◎

重点的な取組事項－２		豊かな人間性の育成（豊かな心）			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
体験の中から、人やこと、ものとの関わり方を学び、豊かな人間性を育成する。		目標実現に向けた取組の実施結果が、3項目以上が達成基準以上	4項目とも基準以上を達成	今年度の取組を継続する	○
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
心の教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・差別に関する教員研修と防止授業を4回以上 ・児童会主体のいじめ・差別撲滅キャンペーンを年2回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業地区公開講座で、いじめ防止授業を公開 ・健全育成の年間計画に沿った取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・差別に関する教員研修と防止授業を4回以上実施 ・児童会主体で、6月にいじめ防止集会、11月に人権集会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・時期を変更して、道徳授業地区公開講座授業公開を実施できた ・健全育成の年間計画に沿った取組が実施できた 	◎
学級活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動(1)の話合い活動を15回以上実施 ・全員が学級会の運営に1回以上関わる 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を出し合い、よりよい合意形成を目指す学級活動(1)の実施 ・全員が司会や記録等を経験する 	12月現在で <ul style="list-style-type: none"> ・教員アンケート「学級会で司会グループの経験を積ませる」75%、 ・児童アンケート「学級会で司会をした」58% 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画に沿って実施できた ・年間計画に沿って児童が学級会の運営に関わることができた 	○
自己肯定感を高める支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学期や学校行事等のめあてや振り返り指導を年4回以上 ・学校評価（児童）「自分のことを大切に思う」の肯定的回答が90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・夢デザインシートの活用 ・学級活動の時間に、係活動のめあてづくりや振り返り指導を実施する 	12月現在で <ul style="list-style-type: none"> ・教員アンケート「夢デザインシートの活用」100% ・児童アンケート「自分のことを大切に思う」91% ・保護者アンケート「お子さんは、自分のことを大切に思っている」96% 	<ul style="list-style-type: none"> ・夢デザインシートを参考に、学年で工夫していく ・学校行事や学級活動において、自己実現の場になるよう児童主体の取組を広げる 	◎
不登校やその傾向がある児童への支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童の出現率、前年比より削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内委員会で、早めの情報共有、組織的な対応や関係諸機関との連携 ・QU検査の結果を学級経営に活かす 	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童の出現率は、前年より減少。 ・QU検査の結果を学級経営に活用、また、個人面談で保護者に説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も校内委員会で情報共有、SSWとも連携し組織的な対応に努める ・QU検査の活用について、校内研修で研鑽を積む 	○

重点的な取組事項－3		基礎体力の向上と健康な体づくり（健やかな体）			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
進んで体を動かす児童の育成と基礎体力の向上		目標実現に向けた取組の実施結果が、4項目とも達成基準以上	・4項目とも基準以上を達成	今年度の取組を継続する	○
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
基礎体力の向上	・課題種目の平均値が、年度初めよりも再調査の結果が向上	・長座体前屈、シャトルランの2種目の再調査を2月に実施 ・体育実技研修を実施し、指導のポイントを全教員が共有	・2種目とも、12学級中9学級が改善 ・OJT研修の時間に、連合運動会に向けた（陸上計時・計測等）を実施	・年間を通して、体育で柔軟性や持久力を高める運動に取り組む ・なわとび、走り方、投げ方など実技研修を実施する	○
オリ・パラ教育「学校2020レガシー」	・学校評価項目（児童）「体を動かすことは楽しい」の肯定的回答が80%以上	・オリンピックタイムの充実 ・体操、リズムダンス ・なわとび ・持久走	・児童アンケート「体を動かすことは楽しい」89%、 ・年間を通じて、体操・リズムダンス・なわとび・持久走を実施	・20分休みは、全校児童が校庭に出る取組を継続する	◎
食育の充実	・学校評価項目（児童）「ひと口目は野菜から食べる」の肯定的回答が80%以上 ・学校評価項目（保護者）「ひと口目は野菜から意識して食べる」の肯定的回答が60%以上	・全学級で「ひと口目は野菜から食べましょう」の号令を実施 ・栄養士と担任が連携した学級指導の実施 ・学校だより、給食だよりでベジファーストの必要性を発信する	・児童アンケート「ひと口目は野菜から食べる」学校で89%、家で61% ・保護者アンケート「お子さんは、ひと口目は野菜から意識して」51% ・教員アンケート「栄養士と連携して、食の指導に取り組む」100% ・給食だよりや学校だよりでも、食に関わる記事を発信	・「ひと口目は野菜から」の取組は、児童には浸透してきた。家庭での食事や保護者への働きかけを継続する ・給食だよりや学校だよりでも、食に関わる記事を今後も発信する	○
健やかな体の育成	・学校評価項目（保護者）「お子さんは、検温、手洗い、マスク着用を意識している」の肯定的回答、85%以上 ・定期健康診断治療勧告後の受診率を前年度より向上	・感染対策の取組の継続 ・感染症対策を踏まえた運動機会の確保 ・受診勧告通知を年2回配布 ・個人面談時、担任からも受診勧告	12月現在で、 ・保護者アンケートに「学校の感染対策の取組」を評価する意見多かった ・保護者アンケート「お子さんは、検温、手洗い、マスク着用を意識して」98% ・保護者アンケート「治療勧告をもらった後に受診した」85%	・感染対策の取組の継続 ・状況に応じたマスクの着脱指導に留意 ・個人面談時、担任からの受診勧告を継続	○

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

ア 学力向上アクションプランについて

【課題】

- ・3・4・5・6年生は国語・算数において平均正答率が75%を下回り、学習の定着状況に課題がある。国語は漢字、算数はかけ算、わり算の習熟に課題がある。また、一対一で話が聞けても集団の中で話を聞くことを苦手とする児童がいる。

【対策】

- ・各教科で一対一の対話や複数での会話の場を取り入れ、他者の話を聞いて自分の考えを深める体験を積ませていく。
- ・子供たちに、「何のために（目的）」「だれに（相手）」を意識させながら、話し合い活動に取り組ませる。
- ・3年生以上は家庭学習でAIドリルを活用し、個別最適な学びができた。来年度は、授業の中でも活用していく。
- ・各教科や特別活動で「めあて、ふりかえり」を書く場面を増やしメタ認知が向上した。書く習慣も身に付つき来年度も継続する。

イ 児童アンケートの結果について

【課題】

- ・肯定的な回答をしている児童は「授業は分かる」は94%、「勉強は好き」は66%であった。昨年度よりも肯定的な回答が増え、落ち着いて学習に取り組んでいる。「話を聞くとときは、その人の考えや気持ちを受け止めようとする」は84%、「自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝える」は78%なので、「他者とのかわりから、自分の考えを広げたり深めたりできる児童」の育成に努める。

【対策】

- ・誰もが分かる授業、また、問題解決型学習を継続し、互いのわかり方を話し合う時間を確保する。
- ・興味のあることを調べたり発表したりする場を設定し、情報活用能力を育む。
- ・考えや意見を出し合い、比べ合いながら、自分の考えを広げたり深めたりして、言語能力の向上に努める。

(2) 保護者や地域へのメッセージ

○開かれた学校づくり協議会会長をはじめ委員、地域ボランティアの皆様には、登校の見守りやあいさつ運動をしていただきありがとうございました。

○放課後子ども教室、放課後学習教室で、感染対策を講じながら活動の幅を広げ、子供たちの見守りをしていただきありがとうございました。

○保護者の皆様には、オンラインアンケートに回答くださりありがとうございました。89%の方から回答をいただきました。ご意見を参考に、次年度計画を立てて参ります。

(3) その他（学校教育活動全般について）

○児童アンケート「よいあいさつをする」は89%が肯定的な回答。保護者アンケート「お子さんは、人と会ったら自分からあいさつしている」は81%が肯定的な回答。子供たちは、毎朝、ボランティアの方と気持ちのよいあいさつをしています。

○今年度は感染対策を取りながら、全学年で校外学習を実施し、子供たちは体験を通して様々なことを学んでいました。来年度も学校行事を充実させ、体験の中から得られる知識や知恵を、子供たちが身に付けていけるように検討して参ります。